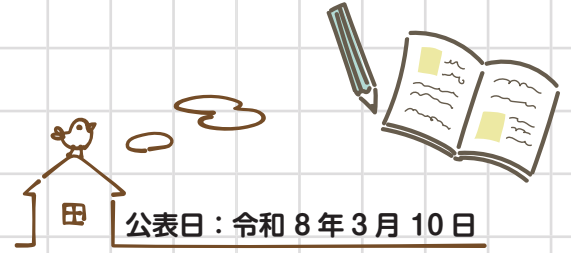


令和7年度

COMPASS 発達支援センター熊本西 事業所における自己評価総括表(公表)



○事業所名	COMPASS発達支援センター熊本西			
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 11日		～	令和7年 10月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 1日		～	令和7年 10月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	2名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 9月 16日		～	令和7年 10月 10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2	(回答数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 15日			

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	(支援の充実) COMPASSでは全国に事業所を展開しており、横のつながりが強く、定期的に全事業所で会議を実施し、情報共有をおこなうことで、適切なアドバイスを受けることができます。	COMPASSでは保育所等訪問支援の意識を高めるため、専門性のある職員の知識と経験を活かし、事例やアプローチなど社内では定期的な勉強会を実施しています。	引き続き事業所間の繋がりを大切にし、職員の更なるスキルアップを目指してまいります。
2	(報告書の作成) 訪問時のご様子については、報告書を作成し保護者様・訪問先・関係機関に情報共有をおこなっております。	訪問先の様子を客観的に分析をおこなったうえで、より適切なアドバイスができるよう、職員間でも情報共有をおこなって意見を出し合っております。	児童・保護者様・訪問先のニーズを把握できるよう、密にコミュニケーションを図ってまいります。
3	(専門的な支援) 多職種により訪問支援をおこなっております。	児童に対しては、課題に対して各職種の視点から支援に対する意見を出し合い、共通認識のもと支援に取り組んでいます。	訪問支援員のスキルアップを高めるため、研修等を通して自己研鑽に励んでまいります。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員としての経験が不足している点が課題となっております。	知識を深めるために、研修会や事業所見学等の機会を設けております。	関係機関や他事業所との情報共有をこまめにおこなってまいります。
2	訪問先施設との対面による連携が十分におこなえていない状況です。	訪問先の先生方が多忙であり、時間を取っていただくことが難しい状況です。	訪問日時を決める段階で、対面での連携を図るための機会を設けていただけるよう働きかけてまいります。
3	ペアレントトレーニングは現時点ではおこなっておりません。	ペアレントトレーニングに対する専門的知識を有した職員が在籍しておりません。	今後は、保護者様のニーズに応じてそのような場を開催する等検討してまいります。

